

第7回東西融合医療セミナーの趣旨

新宿漢方クリニックは、手元にある外来患者カルテの790名分を見直してみました。そのうち175名(22%)はメンタル疾患で、診断は、うつ病、ストレス関連性障害(パニック障害、強迫神経症、不安神経症、PTSD)、認知症、統合失調症などです。興味あることは、これらの患者さんに共通して「頭痛、肩こり、首・上腕の張りなど」(頸肩腕症候群)の訴えがある事実です。

頸肩腕症候群の治療としてWHO(世界保健機関)やNIH(アメリカ国立衛生研究所)は、鍼灸治療の有用性を全世界に公表し推奨しております。一方本邦では医学の教科書に鍼灸治療の項目はありません。日本型西洋医学と鍼治療との政治的教育的断絶を見る思いです。

次回第7回東西融合医療セミナー;9月24日(日)の課題は「頸肩腕症候群」です。

- 1) お差支えなければ、皆さんの治療法を教えてください。
- 2) 上記の神経疾患をもつ頸肩腕症候群の鍼灸漢方治療についても触れてみます。

多彩なご意見をお待ちします。そして可能であれば当日ぜひともご参加ください。